



NO. 1126 / 2012. 11. 16

例会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

<http://www.akasakarotary.com/>

東京赤坂ロータリークラブ週報
Weekly Report

2012~2013年度クラブテーマ
会長 尾関 武男

「僅かなことにも手を差し伸べよう、そして信頼と絆」
Give a hand to even to the small things. Build trust and bonds.

●本日の例会/ 2012年 11月 16日 第1233回

卓話：「銀行雑感」

総警常駐警備株式会社
代表取締役社長 松本 智氏
(当クラブ会員)

●前回報告/2012年 11月 9日 第1232回例会

卓話：「シリコンバレーとイスラエルに学ぶ：
今の法人も少子高齢化した日本の産業界の課題」
独立行政法人 理化学研究所
工学博士 特別顧問 武田 健二 氏



卓話紹介：西澤会員

社会奉仕委員会：(橋本委員長)

1. 今年度の東日本震災復興支援につきましては兼ねてから皆様に報告致しております様に陸前高田第一中学校「運動場整備事業」を進めておりますが地区の助成金ならびに当クラブの支援金であります50万円を陸前高田RC復興支援基金に送金いたしました。被災現場から本日感謝の意が有りましたのでご報告致します。着工は順調に進んでおり近々視察に行き進捗状況を改めて皆様にご報告致します。

2. ポリオ撲滅運動の一環としてエコキヤップをエコキヤップ推進委員会に送りたいと思いますので皆様のご協力を願います、目標は今年度末までに40,000個を収集致したいと考えております、収集日は毎月末といたします。尚キヤップ40,000個はポリオワクチン50人分と成り、50人の子供たちの命を救う事が出来る大切な行動ですので宜しくお願ひ致します。エコキヤップの回収は社会奉仕委員会にて行います。お持ちいただいた際は、社会奉仕委員会へお願ひいたします。

3. 本日例会後に1階「かげろう」で社会奉仕委員会を開催致しますので関係者の方々はご参集願います。

出席報告：会員40名/出席21・欠席19名

ゲスト：武田健二(卓話) 敬称略1名

※ 11月23日(金)は、祝日のため休会です
例会はございません。

11月 火曜会報告

11月6日の火曜会はゲストに、以前卓話でもお話しいただきました元ロッテリア社長の篠崎真吾様をお招きして開催いたしました。

ロッテリアの社長としての篠崎さんのご経験を、同じく経営者の集まりでもあるロータリアンは、各々の経営姿勢と照らし合わせながら興味深く聞いていました。

お話のあとは、外食産業や、今後のサービス業の方向性といったことに対する質問や意見交換がされ、外食産業以外の世界でも活かせる貴重なお話を伺うことができました。篠崎さんのお話で、各業界にもまだ沢山のチャンスがあると実感された方も多かったと思います。火曜会では卓話とはまた違い、ゲストの方と親密にお酒をのみながらざくばらんに意見交換を出来るという魅力がございます。

今回は前回より寒く、雨も降ったこともあり、出席者が少なめでしたが、次回は皆様ぜひふるってご出席くださいませ。

(文責・藤井)

この日の会には藤井さんのお父様(公博様)もゲストとして出席され、皆さんと一緒に活発に議論に参加し、場を盛り上げるのに一役買っていただきました。

(村山・追記)

参加者：尾関、尾上、藤井公博(ゲスト)、藤井万博、吉岡、高須、秋吉、西澤、入沢、岩上、篠崎
(ゲスト)、小林、村山
計 13 名
(順不同・敬称略)



●次回予告/ 2012年 11月 30日(金) 第1234例会

東京麻生RC・東京赤坂RC 合同例会

卓話予定：株式会社酒井プロデュースオフィス

エグゼクティブプロデューサー

酒井 政利 氏

RI会長 田中作治

親愛なる朋友ロータリアンの皆さん、ロータリー財団を説明する方法はさまざまですが、私は、ロータリー財団（Rotary Foundation）とは文字通り、ロータリーを支える「土台（foundation）」であると考えます。自分の足元の地盤について考えたり、家を支えている柱について考える人はあまり多くありません。あるのが当然だと考えているからです。なくなった時に初めて、そのありがたさがわかるものです。

考え方を一変させた大震災

2011年3月11日金曜日、日本では、足元にある地盤が崩れ落ちました。マグニチュード9の大地震が日本を中心から揺さぶったのです。1万5,000人以上の人人が亡くなり、6,000人近くが負傷し、現在もほぼ3,000人の人が行方不明です。この災害による損失は、合計で3,000億ドルを超えるとも言われています。

ほんの数時間で、裕福な先進国に住む約50万人が、何もかも失いました。快適で安全な暮らしから、体育館やテント、壊れた建物の中での、不確かな未来への不安を抱えた生活へと一変しました。

地震に慣れていた日本では、何が起こっても備えはできていると、皆、考えていました。これほど大きな災害に見舞われるとは、誰も予測していませんでした。

あの日に起こったことで、日本と日本に住んでいた人々は変わりました。自分たちの生活がいかにもろいものであるかを実感したのです。私はロータリーを通じて援助している人々の立場に、いつ自分が置かれるかわからないということを認識しました。

私たちは、皆同じ

財団を通じて支援する人々のことを、私たちは、何か自分たちとは違うという目で見がちです。彼らは遠い国に住み、私たちはそれらの人々の言葉や文化を知りません。水道水や衛生設備、医療、教育がないということがどのようなものなのか、わかりません。貧困、戦争、災害のニュースに関して、写真や記事を見ることがあります。私たちは、遠く離れたところから、苦境に直面している人たちを見ていますが、彼らの立場に自分を置いて考えるのは、難しいものです。

私たちが支援するこれらの人々と私たちとを隔てるものは何もない、ということをご理解いただきたいと思います。私たちは、皆同じです。取り巻く環境が違うだけなのです。

財団を通じて、「世界でよいことをしよう」という財団のモットーを実践することができます。財団を通して、一人でするよりももっと多くの良いことができるのです。財団に大きな関わりがあるのは、私たちと何ら変わることのない人々なのです。

（ロータリージャパンより）



尾関武男/理化学研究所 武田健二様、ようこそおいで頂きました。本日は卓話よろしくお願ひいたします。西澤民夫/武田先生、本日の卓話楽しみにしています。村山公士/先日の火曜会、ご出席の皆様ありがとうございました。私は大幅な遅刻で大変ご迷惑をおかけしました。入沢頼二/近々、矢来能楽堂で金春家元に地頭に卒部婆小町のシテ方を謡います。関陽一/ようやく仕事は、ひと段落しました。今度は出産に備えて大人しくしています。小林博茂/先週の理事会にて福山赤坂RCとの姉妹クラブ締結が承認されました。私が段取り等進めますので、皆様のご協力をお願いします。本日はニコニコご協力ありがとうございました。

国際ロータリーのロータリー財団は、ロータリアンや支援者からの自発的な寄付のみによって支えられている慈善団体です。財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済するプロジェクトを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

補助金プログラム

財団の補助金は、地元や海外でロータリアンが行う奉仕プロジェクトを支援しています。クラブと地区は、ロータリーの6つの重点分野に基づき、井戸の設置、医療クリニックの設立、識字力向上など人々が必要としている活動を実施するために補助金を利用します。

ポリオ・プラス

ポリオの撲滅はロータリーの最優先事項です。ポリオ・プラスは、大規模な予防接種キャンペーンをはじめ、世界ポリオ撲滅の最終局面を支援するために、社会動員や監視活動、研究を支援しています。全世界でポリオの撲滅が認定されるまでに、ロータリアンは12億ドル以上を拠出すると予想されています。また、ロータリアンはこれまでに何十万という時間をボランティア活動に捧げてきました。ロータリーは、世界保健機関（WHO）、ユニセフ、米国疾病対策センター（CDC）といった機関とともに、この撲滅活動を主導してきました。5歳未満の子供、20億人以上にポリオの予防接種が行われ、そのおかげで、毎年50万人のポリオ感染が予防されているといわれており、世界のポリオ発症数は99パーセント減少しました。

ロータリー平和センター

ロータリー平和フェローは、仕事や奉仕活動を通じて国内外での協力、平和、紛争解決を推進していくリーダーとなる人々です。ロータリー平和センターで学ぶ平和フェローは、国際関係、行政学、持続可能な開発、平和研究、紛争解決をはじめとする分野の修士号、あるいは平和と紛争解決の分野における専門能力開発プログラムの修了証を取得することができます。

資金面での支援

財団へのすべての寄付は、教育的・人道的プログラムとその運営を支えるための財源となります。「毎年あなたも100ドルを」は、これらの重要な財団のプログラムを支えるため、世界中の会員全員が、毎年100ドル以上を寄付することを奨励するものです。

ロータリー財団の3つの主な財源

- ◎補助金と奨学金を提供する「年次プログラム基金」
- ◎財団の長期的な存続を確かのものとする「恒久基金」
- ◎ポリオのない世界実現というロータリーの目標を達成するための「ポリオ・プラス基金」

（ロータリージャパンより）

11月 9日(金) / 6件 12,000円 累計 443,000円

多額の寄付を有難うございました。（敬称略）